

2025年6月5日
株式会社 荘内銀行

つるおかエコファイアのグリーン電力証書調達について

株式会社荘内銀行（本店：山形県山形市、頭取：佐藤 敬）は、八千代エンジニアリング株式会社（本店：東京都台東区、代表取締役社長執行役員：高橋 努）より、鶴岡市の一般廃棄物処理施設「つるおかエコファイア」が供給する「グリーン電力証書」（※1）を調達いたしましたので、お知らせします。

当行は、鶴岡西支店が一年間に消費する電力に由来する CO₂ 排出量相当分を、当グリーン電力証書によってオフセットします。証書購入代金は、鶴岡市において地域課題の解決のために使われ、環境価値の地産地消と地域経済循環につながります。

自治体のグリーンセンターから創出されるグリーン電力証書を、同市内の金融機関が地産地消する事例は、全国初となります。

記

1. 調達概要

発電電力量	42,000kwh
発電期間	2024年10月～2024年12月
発電方法	自然エネルギー発電（バイオマス発電）
発電所名	鶴岡市一般廃棄物処理施設
発行日	2025年5月13日
利用期間	2025年4月1日～2026年3月31日

2. 取り組みの特徴

本事業は、つるおかエコファイアが再生可能エネルギー（バイオマス）により発電したグリーン電力に含まれる環境価値を、証書発行事業者（八千代エンジニアリング）が第三者認証機関（一般財団法人日本品質保証機構）の認証を得て「グリーン電力証書」として発行し、地域事業者（荘内銀行）に販売するものです。（※2）

つるおかエコファイアにおけるバイオマス発電の燃料は市内で発生したごみであり、廃棄物に経済的価値を見出し、有効活用する取り組みとなります。

購入費用は鶴岡市に渡り、地域の課題解決のために使われ、環境価値の地産地消と地域経済循環につながります。

本件に関するお問い合わせ先（報道機関）
荘内銀行 広報 IR 室 TEL：023-626-9006

※1 グリーン電力証書

再生可能エネルギーで生み出された電力には、化石燃料の削減・CO₂ 排出量抑制・再生可能エネルギー普及への貢献などの付加価値が含まれており、これらは「環境価値」と呼ばれています。「環境価値」を電力と切り離して証書化したものが「グリーン電力証書」です。

グリーン電力証書を購入した事業者は、自社が事業活動を通じて消費した電力のうちグリーン電力証書購入相当分を CO₂排出量に置き換えることができ、「再生可能エネルギーを使用している」とみなすことができます。事業者にとっては、自社のカーボンニュートラルの促進につながります。

グリーン電力証書は設備投資をせず CO₂ を削減できるため、積雪などにより太陽光発電が難しい事業者でも取り組むことができます。

※2 本事業のイメージ



以上